## 小野谷機工の新商品

# ホイールバランサー「ダイナマックス　Ks-MAX」登場

## 液晶パネルを採用

## 誰でも簡単作業が可能

タイヤ足回り整備機器大手の小野谷機工株式会社は2月15日、乗用車用ホイールバランサーの最上級機種『ダイナマックス　Ks－MAX（ケーズマックス）』を販売開始した。操作パネルに初めて21・5インチの液晶パネルを採用し、簡単な操作で全自動測定を実現した。前回に続きリポートする。（木本）

「Ks－MAX」と開発者の杉本和則さん

新型機の特長について、開発者の同社商品開発部・技術開発グループの杉本和則部長補佐にお話を聞いた。

『Ks－MAXの最大の特長は操作パネルに液晶パネルを採用したことです。作業者の方が直感的に作業できるように、見るだけですぐにわかるパネルを目指しました。どれだけ見やすくかつシンプルに使いやすくするか、使う人の立場を考えて作りました。その他多くの機能を盛り込み、MAXの名に恥じない商品に仕上がったと思います。作業の自動化、軽労化にも配慮して開発しました』とのこと。

早速、杉本さんに作業を実演してもらった。まずタイヤ・ホイールセットをオプションのスライド式タイヤリフト「L－1000C」で上昇させ、エアーロック式専用のナットを入れてペダルを踏めばセット完了。両手でタイヤを持ちながら作業するので取り付けもスムーズだ。

パネルは一つ一つのボタンが大きく色使いも力ラフルで視認性も良い。これなら作業しやすそうである。

『通常のホイールバランサーですと、バランス測定に当たってホイールの直径、幅、寸法というデータを、レバーを使って入力しなければなりません。しかし、このKs－MAXはレーザーセンサーを採用しておりますので、ボタンを押すだけで自動的に作業が流れます』。

タッチパネルの右下部分にあるレーザーのボタンを押すと実行状態になるので、次にスタートボタンを押すだけ。タイヤは最大外径900ミリまで作業可能だ。自動開閉式のタイヤガードが降りてきてタイヤが回転、レーザーがタイヤの形状をスキャンし、ものの10秒ほどで測定が終了する。作業測定中、また測定終了時にはLED照明装置（LUCE）がホイールを明るく照らすため、視認性も良好。

『測定時間を短縮し、作業時間を短縮するとともに、低速回転（110rpm）で安全性も向上しました。タイヤガードにも安全装置が付いており、万一作業者に当たってしまった場合でもすぐに停止します』。

測定が終了すると、レーザーポイントの赤い点がウエイト取り付け位置を照射する。パネルにイン側25グラム、アウト側55グラムの表示が出た。タッチパネル上にもリム幅、取り付け位置、リム径、ディスタンスが表示される。

イン側に25グラムのウエイトを貼り付け、再測定し、イン側、アウト側のグラム表示部分に「OK」サインが出ると作業終了だ。実に簡単で分かりやすい。また、さらに細かい修正を行いたい場合には、FINEボタンを押せば、1グラム単位の修正も可能。

美しく操作性の良い液晶パネル

取り付け位置にウエイト貼り付け

作業手順の表示機能も

スチールホイールの場合はモード切替スイッチを押す。この時はリム径、ディスタンスはレーザーポインターが読み取り、リム幅はタイヤガードに付いたソナーが読み取り、測定後、取り付け位置を表示する。

『誰が測定しても同じ測定結果になりますので、経験のごく浅い、アルバイトの方でも簡単に作業が可能になります』と、杉本さんは語る。

リム径が極端に細いタイヤの場合（10～13インチ）は、レバー操作で測定する。万一、自動測定チシステム）。55グラムのとレバーが壊れてしまった場合でも、手入力で操作が可能だ。

バランスを測定するだけでなく、ウエイトを外から見えないよう、分割貼り付けを行う場合のホイール隠し機能（WAS機能）や、アンバランスが大きい場合にタイヤとホイールの位置を変えることで、取り付けウエイト量を少なくするマッチング機能も充実している。

どちらの場合もWASボタン、マッチングボタンを押すと、続いて行う操作手順がパネルに表示される。例えばマッチングの場合は、ホイールバルブ位置を真上に移動させ、SETボタンを押した後、タイヤをホイールに対して180度組み替え、組み替えが終わったら再びバランサーに装着し、スタートボタンを押して測定する、と言う具合だ。取扱説明書を読まなくても、手順が画面に表示されることで、安心感が違ってくる。このあたりも作業者の使い勝手を考えた、液晶パネルならではの強みと言えそうだ。

設置スペースは従来機と変わらず、幅1200ミリ、高さ1440ミリ、タイヤカバーまで入れると2010ミリに抑えた。ウエイトカバーの設計も見直し、コーンやウエイトハンマーの収納も便利。

バランサー主軸部分への高さ自動芯出し機構付きタイヤリフト「L－1200」、また加熱保温で接着効果を改善するウエイトヒーター「BH－40」もオプションに加えた。

「ダイナマックスKs－MAX」。液晶パネルの採用と多彩な機能で、作業経験の浅い従業員やアルバイトの方に快適な作業環境を提供するとともに、お客様に作業を見せるショーアップしたピットづくりにも役立つ、まさに注目の新商品と言えそうだ。問い合わせは同社本社（0778－22－2124）または各営業所まで。